

2019年3月吉日

お客様各位

株式会社システムコンサルタント
スーパーネット部

「WebQuery / Excellent / FreeWay」の元号改正における対応について

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。平成31年5月1日、新元号への改元が行われます。つきましては、弊社製品「WebQuery / Excellent / FreeWay」の元号改正における対応について、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

■改元に伴い、影響がある製品

製品	バージョン	影響の有無
WebQuery	全てのバージョン	一部の機能で影響あり
Excellent	全てのバージョン	影響なし
FreeWay	全てのバージョン	影響なし

■WebQueryにおける影響

WebQuery で以下2機能をご利用中の場合、改元に伴う影響が発生する可能性がございます。

1. WebQuery 予約語機能
2. WebQuery スクリプト

各機能を使用している場合の影響や影響範囲の調査方法は、以下をご確認ください。

1. WebQuery 予約語機能

WebQuery では、実行した日付を取得する予約語機能を提供しております。特定の予約語を使用されているお客様は、改元による影響がございます。

1.1 予約語使用時の影響

「表 1.1-①. 影響のある予約語」を使用していた場合、改元後に影響が発生します。
該当の予約語は「平成」を前提とした変換となるため、改元後に実行した場合も「平成」を基準とした変換になります。

表 1.1-①. 影響のある予約語

予約語名	予約語	説明	実行日付ごとの変換例	
			2019/01/01	2020/01/01
和暦元号 (1文字)	@JERA@	実行した日付の元号を漢字1文字に変換	平	平
和暦元号 (2文字)	@JERA2@	実行した日付の元号を漢字2文字に変換	平成	平成
和暦元号 (英字1文字)	@JERAE@	実行した日付の元号をアルファベット1文字に変換	H	H
日付 (YY/MM/DD)	@JDATE@	実行した日付を、和暦に変換	31/1/1	32/1/1
日付 (YY/MM/DD) ※前0	@ZJDATE@	実行した日付を、和暦で変換 (前ゼロあり)	31/01/01	32/01/01
日付 (Y/ M/ D) ※前スペース	@SJDATE@	実行した日付を、和暦で変換 (前スペースあり)	31/ 1/ 1	32/ 1/ 1

1.2. お客様環境における、WebQuery 予約語ご利用状況の調査方法

WebQuery 定型処理の定義を CSV に出力し、出力された CSV ファイルに対して該当する予約語を検索することでご利用状況を確認することができます。

【調査手順】

(1). CSV 出力バッチの起動

- (1)-1. 「<WebQuery 導入ディレクトリ>%WebQuery%tools%wqcsv.exe」を
右クリックメニューの「管理者として実行」から起動

(2). CSV 出力設定

- (2)-1. [実行モード設定] で「4 (保存モード)」を選択
- (2)-2. [読み込み元ディレクトリ設定] で設定ファイルの保存先を指定
- (2)-3. [出力先ディレクトリ設定] で CSV ファイルを出力する先のフォルダを設定
- (2)-4. [確認] で設定に問題が無ければ「y (実行)」を選択

(3). 出力ファイル内の予約語の確認

- (3)-1. 「2.CSV 出力設定」で出力された CSV ファイルのうち、「wqtemp.csv」を開く
- (3)-2. 該当の予約語 (@JERA@ 等) を検索し、使用している処理があるか確認を行う

該当の予約語を使用していない場合、今回の改元による影響はございません。

使用している場合、本資料の「**■改元に伴う WebQuery の対応**」をご確認ください。

2. WebQuery スクリプト

WebQuery では、お客様のアプリケーション開発のサポートとして WebQuery スクリプト (API) を提供しております。特定の WebQuery スクリプト関数を使用しアプリケーションを開発されている場合、改元による影響がございます。

2.1. WebQuery スクリプト使用時の影響

「表 2.1-①. 影響のある WebQuery スクリプト関数」を使用していた場合、改元後に影響が発生します。

表 2.1-①. 影響のある WebQuery スクリプト関数

関数	説明	使用結果例
GetAD	和暦表示を西暦表示に変換します。	平成31 ⇒ 2019
FormatDate	年月日 (GGGGJJ) を指定のフォーマットに変換します。	20190101 ⇒ 平成31

該当の関数は「平成」を前提とした変換となるため、実行結果は以下「表 2.1-②. 改元後の結果」になります。

表 2.1-②. 改元後の結果

関数	影響	使用結果例
GetAD	新元号を使用した変換はできません。	新元号32 ⇒ 出力なし (エラーコード -1)
FormatDate	新元号への変換ができず、平成表記になります。	20200101 ⇒ 平成32

2.2. WebQuery スクリプト関数の影響範囲の調査方法

WebQuery スクリプトを使用したアプリケーション開発者にご相談の上、該当関数が使われているソースがないか、ご確認ください。

※該当の関数を使用してなかった場合、今回の改元による影響はございません。

■改元に伴う WebQuery の対応

WebQuery では、次回リリースの新バージョンから新元号に対応致します。

上記確認にて改元に伴う影響があるお客様につきましては、WebQuery のバージョンアップをご検討いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

また現在お使いのバージョンで新元号への対応をご希望される場合は、弊社担当営業にご相談ください。

以上